

スクリプト概要

スクリプト名	種類	説明
Replace_Symbols_replace	メイン	置換表ファイルの定義により、テキストファイルにある特殊文字を置換

可変長読み取り設定

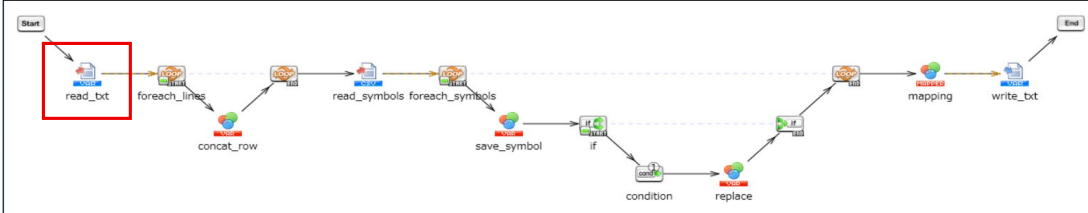
「可変長読み取りフォーマット定義」を利用して、指定したテキストファイルを読み取ります。
 後述の設定手順にて「可変長読み取りフォーマット定義」を作成のうえ、可変長読み取り処理コンポーネントのプロパティ設定ダイアログにて、フォーマットの設定を行ってください。

<可変長読み取り 設定手順>

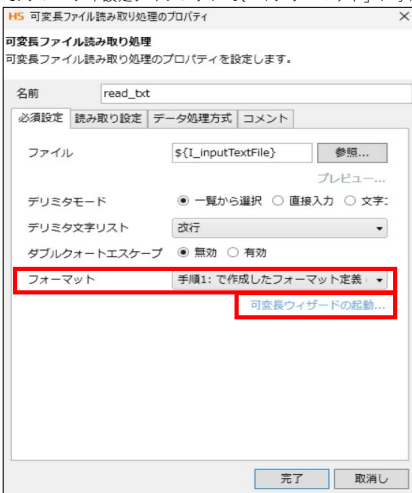
- HULFT Squareサイト > データ形式 から「新規追加」を選択し、「可変長読み取りフォーマット定義」を作成してください。
 ※「名前」「ワークスペース」には任意の値を設定してください



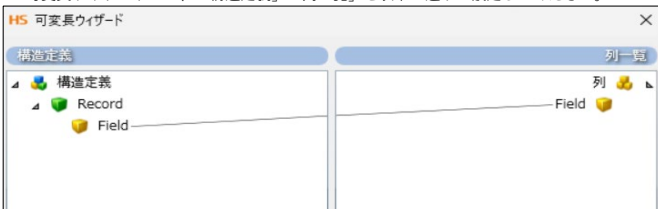
- デザイナーで「Replace_Symbols_replace」スクリプトを開き、「read_txt」コンポーネントを開いてください。



- プロパティ設定ダイアログにて、「フォーマット」に手順1.で作成した可変長読み取りフォーマット定義を選択し、「可変長ウィザードの起動...」を押してください。



- 可変長ウィザードにて、「構造定義」「列一覧」を以下の通りに設定してください。



可変長読み取り設定は以上です。

可変長書き込み設定

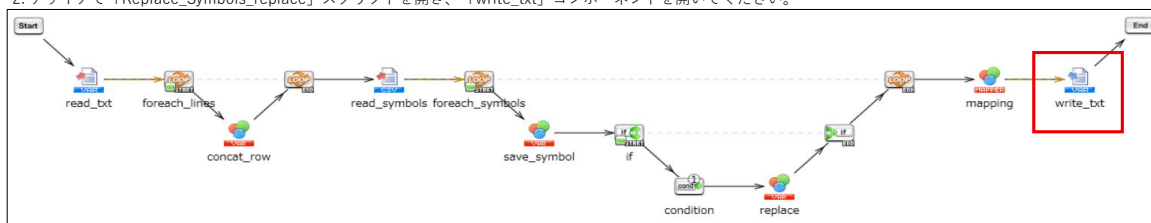
変換した結果をファイルに書き出す際に、「可変長書き込みフォーマット定義」を利用します。
 後述の設定手順にて「可変長書き込みフォーマット定義」を作成のうえ、可変長書き込み処理コンポーネントのプロパティ設定ダイアログにて、フォーマットの設定を行ってください。

<可変長書き込み 設定手順>

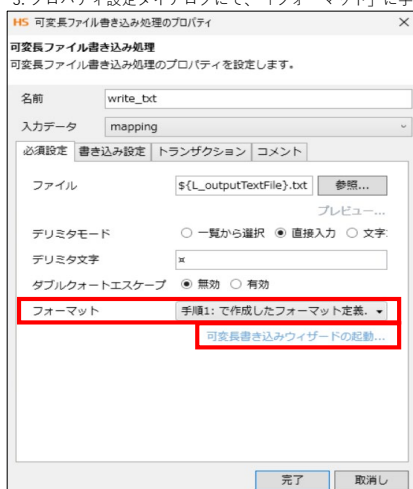
1. HULFT Squareサイト > データ形式 から「新規追加」を選択し、「可変長書き込みフォーマット定義」を作成してください。
 ※ 「名前」「ワークスペース」には任意の値を設定してください



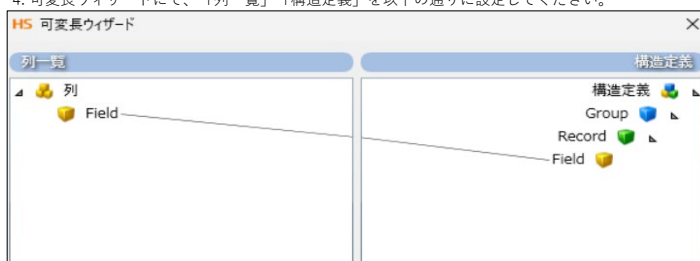
2. デザインで「Replace_Symbols_replace」スクリプトを開き、「write_txt」コンポーネントを開いてください。



3. プロパティ設定ダイアログにて、「フォーマット」に手順1.で作成した可変長書き込みフォーマット定義を選択し、「可変長書き込みウィザードの起動...」を押してください。



4. 可変長ウィザードにて、「列一覧」「構造定義」を以下の通りに設定してください。

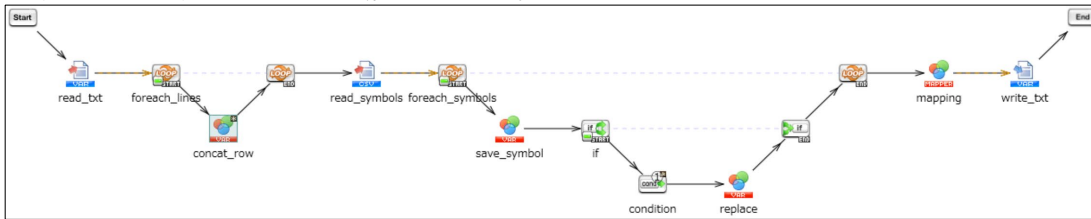


可変長書き込み設定は以上です。

スクリプト名

Replace_Symbols_replace

置換表ファイルを参照し、テキストファイルにある特殊文字を置換します。



初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_inputTextFile	必須	特殊文字を含むファイルのフルパス
l_replaceTableFile	必須	置換表ファイル(CSV)のフルパス